

日 本 史

1 次の文章を読み、下の問いに答えよ。

- (1) 前近代の東アジア諸地域をつなぐ最も基本的な文化要素である「漢字」は、当初日本列島には、外国の君主から贈られる威信財に刻まれてもたらされた。福岡県志賀島で江戸時代に発見された金印や、高句麗と対立する(1)王から倭王に贈呈されたという石上神宮所蔵の(2)に刻まれた文字は、列島内の「王」にとっても、特別な政治的意味を持つものであった。その後5世紀から6世紀には、倭国側が作成した漢文の記録も確認できるようになる。『宋書』倭国伝に引用された倭王(3)の上表文はその代表例だが、それは史部などと呼ばれる渡来人の手によるものであろう。熊本県の(4)出土鉄刀の銘文をはじめ、この時期の鏡や刀剣の銘文の作成も、こうした渡来人の関わりが想定されている。
- (2) 7世紀後半から8世紀になると、銘文以外の文字資料が爆発的に増えてくる。税の荷札や手紙などの用途に広く使われた(5)は、(6)宮・京跡や、その次の都である平城宮・京跡などの王宮・都城の遺跡の発掘調査で戦後大量に見つかり、現在ではさらに九州から東北に至る各地方の遺跡で出土している。紙に書かれた書類も、6年ごとに作成される(7)をはじめ数多くの公文書の現物が残されている。それは、官僚制の整備によって大量の文書・記録の作成が行われるようになったためである。720年に完成した(8)などの歴史書をはじめ、後世まで長く伝えられる書物がこの時期にまとめられたことも、同じく注目されよう。
- (3) 9世紀は唐風文化の時代と言われるが、それを支えたのは、(9)で儒教の経典や中国の史書・文学を学んだいわゆる文人貴族たちであった。その一方で9世紀後半からは和歌も盛んとなり、10世紀初頭には初の勅撰和歌集である(10)がつくられた。漢字の草書体をもとにつくられたと考えられる平仮名などの仮名文字は、そうした和歌からさらに散文の表現にも使われはじめ、やがて『源氏物語』や『枕草子』などの作品が生み出された。これらは10世紀から11世紀にかけてのいわゆる国風文化の代表例とされるが、それは、長きにわたる中国起

源の文字文化を列島の人々が吸収・消化する中で生み出されたものであった。

問 1. (1)～(10)に入る最も適切な語句を、下の【語群】から選び、その記号を番号と結んで書き出せ。〔解答例：(1)―ヤ〕

【語群】

- | | | |
|------------|----------|------------|
| ア. 新羅 | イ. 須恵器 | ウ. 三角縁神獸鏡 |
| エ. 卑弥呼 | オ. 大 学 | カ. 木 簡 |
| キ. 綜芸種智院 | ク. 大 津 | ケ. 帥 升 |
| コ. 江田船山古墳 | サ. 平 安 | シ. 『日本書紀』 |
| ス. 七支刀 | セ. 『古事記』 | ソ. 『古今和歌集』 |
| タ. 稲荷山古墳 | チ. 箸墓古墳 | ツ. 百 濟 |
| テ. 『万葉集』 | ト. 漢 | ナ. 加 耶 |
| ニ. 『文華秀麗集』 | ヌ. 『風土記』 | ネ. 武 |
| ノ. 国 学 | ハ. 計 帳 | ヒ. 大田文 |
| フ. 藤 原 | ヘ. 讚 | ホ. 誉田御廟山古墳 |
| マ. 割 符 | ミ. 戸 籍 | ム. 銅 鐸 |
| メ. 木 棺 | モ. 律 令 | |

問 2. 下線部(a)について、この金印に刻まれている文字として正しいものを、下のア～エのうちから一つ選び記号で答えよ。

- ア. 親魏倭王 イ. 治天下大王 ウ. 漢委奴国王 エ. 日本国王

問 3. 下線部(b)について、古代の渡来人に関するⅠ～Ⅲの説明の正誤の組み合わせとして正しいものを、下のア～エのうちから一つ選び記号で答えよ。

Ⅰ 蘇我氏は、先進知識を持つ東漢氏などの渡来人と連携して朝廷の改革を進めた。

Ⅱ 釈迦三尊像で有名な広隆寺は、秦氏の氏寺である。

Ⅲ 西日本の朝鮮式山城は、新羅からの亡命貴族の知識・技術を活用して築かれた。

- ア. Ⅰ = 正 Ⅱ = 正 Ⅲ = 誤 イ. Ⅰ = 正 Ⅱ = 誤 Ⅲ = 誤
ウ. Ⅰ = 誤 Ⅱ = 正 Ⅲ = 誤 エ. Ⅰ = 正 Ⅱ = 誤 Ⅲ = 正

問 4. 下線部(c)について、飛鳥～平安時代の遺跡名とその所在地の組み合わせとして誤っているものを、下のア～オのうちから一つ選び記号で答えよ。

- ア. 難波宮跡—大阪府 イ. 大宰府跡—福岡県 ウ. 下野国府跡—群馬県
エ. 志波城跡—岩手県 オ. 安芸国分寺跡—広島県

問 5. 下線部(d)について、文人貴族の代表例である菅原道真に関する説明として誤っているものを、下のア～エのうちから一つ選び記号で答えよ。

- ア. 宇多天皇の信頼を得て、文人貴族としては破格の出世をした。
イ. 自作の漢詩や散文を集成した『菅家文草』を編んだ。
ウ. 藤原時平との政争に敗れ、大宰府に左遷された。
エ. 894年に、60年ぶりの遣唐使として唐にわたった。

問 6. 下線部(e)について、この時期の出来事を正しく年代順に並べているものを、下のア～エのうちから一つ選び記号で答えよ。

- ア. 平将門の乱→安和の変→延久の荘園整理令→前九年合戦→藤原道長摂政となる
イ. 平将門の乱→安和の変→藤原道長摂政となる→前九年合戦→延久の荘園整理令
ウ. 安和の変→平忠常の乱→延久の荘園整理令→前九年合戦→藤原道長摂政となる
エ. 安和の変→平忠常の乱→前九年合戦→藤原道長摂政となる→延久の荘園整理令

2 次の文章を読み、下の問いに答えよ。

- (1) 下総国出身の相馬氏は、1189年の奥州藤原氏滅亡後に陸奥国行方郡に所領を得た。その後、相馬氏は北条義時に従って、武蔵国の有力御家人であり奥州藤原氏攻めでも活躍した(1)の追討や承久の乱などで活躍した。鎌倉時代末には、北条得宗家の被官である(2)の長崎氏と所領をめぐって争うなどしたが、一御家人として鎌倉時代を生き抜いた。鎌倉幕府が滅亡して建武の新政が始まると、相馬氏は後醍醐天皇から天皇の命令書である(3)を得て所領を安堵された。建武政府が崩壊すると、南朝方と北朝方の対立が激化し、さらに(4)年に起きた観応の擾乱の影響も波及するなど、東北地方の情勢は混乱を極めたが、相馬氏は基本的に北朝方として活動してこの難局を乗り切った。室町時代になると、東北地方には鎌倉府の影響力が強く及ぶようになり、新たに稲村公方・篠川公方が置かれた。これに対して相馬氏は、近隣の領主とともに共同で公方の命令に対応したり、所領紛争の処理をしたりすることなどを決めた(5)を結成して対処した。
- (2) 相馬義胤は、戦国時代から江戸時代初期にかけて活躍した。全国統一を目指す豊臣秀吉は、各地の大名に対して領土紛争を停止し豊臣政権の裁定に従うよう命じた(6)を発したが、それは義胤に対しても伝えられている。義胤は朝鮮出兵にも動員され、肥前国名護屋に在陣した。義胤の嫡男利胤は、1611年に本拠を小高城から中村城に移転した。これにより、相馬中村藩が正式に誕生して利胤は初代藩主となった。3代藩主相馬忠胤は、上総国久留里藩主土屋利直の次男で、徳川家光の側近から老中となり「知恵伊豆」として知られた(7)にも認められて相馬家に養子入りした。5代藩主相馬昌胤は、最初4代将軍(8)に仕え、後に5代将軍徳川綱吉に近侍したことで知られる。8代藩主相馬恕胤は、9代将軍(9)などに仕えた。中村藩は、天明の大飢饉で大打撃を受けた。領民の多くが餓死したり逃散したりしたが、報徳仕法で有名な(10)の教えを取り入れ、農村復興を図った。

問 1. (1)～(10)に入る最も適切な語句を、下の【語群】から選び、その記号を番号と結んで書き出せ。〔解答例：(11)―ム〕

【語群】

- | | | |
|-----------|---------|----------|
| ア. 徳川家綱 | イ. 引付衆 | ウ. 惣 掟 |
| エ. 1350 | オ. 土一揆 | カ. 分地制限令 |
| キ. 堀田正俊 | ク. 大原幽学 | ケ. 井伊直弼 |
| コ. 二宮尊徳 | サ. 徳政令 | シ. 1348 |
| ス. 徳川家定 | セ. 徳川家斉 | ソ. 阿部正弘 |
| タ. 半 濟 | チ. 和田義盛 | ツ. 三浦泰村 |
| テ. 御内人 | ト. 平田篤胤 | ナ. 綸 旨 |
| ニ. 守護請 | ヌ. 国人一揆 | ネ. 徳政一揆 |
| ノ. 畠山重忠 | ハ. 同朋衆 | ヒ. 小林一茶 |
| フ. 徳川家重 | ヘ. 松平信綱 | ホ. 惣無事令 |
| マ. 公事方御定書 | ミ. 1352 | |

問 2. 下線部(a)に関する正しい説明文を、下のア～オのうちから一つ選び記号で答えよ。

- ア. 源頼朝から追われた源義経は、平泉の藤原清衡のもとへ落ち延びていった。
- イ. 奥州藤原氏は、陸奥北部を根拠地とする清和源氏源頼信の子孫である。
- ウ. 奥州藤原氏は、浄妙寺や富貴寺などを平泉に建立した。
- エ. 奥州藤原氏を滅ぼした後、源頼朝は征夷大將軍に任じられた。
- オ. 奥州藤原氏 2 代目の藤原基衡は、保元の乱で藤原通憲(信西)を討つなど活躍した。

問 3. 下線部(b)に関する正しい説明文を，下のア～オのうちから一つ選び記号で答えよ。

- ア. 承久の乱の後，後鳥羽上皇とともに土御門上皇と嵯峨上皇が配流された。
- イ. 承久の乱が起きたときの鎌倉幕府の将軍は，宗尊親王である。
- ウ. 承久の乱が起きる前に，新たに新補地頭が各地に置かれた。
- エ. 朝廷側に属した人々の所領は幕府に没収され，多くの東国御家人が地頭に任じられた。
- オ. 北条義時の子である時頼・高時が大軍を率いて上皇方に勝利した。

問 4. 下線部(c)に関する正しい説明文を，下のア～オのうちから一つ選び記号で答えよ。

- ア. 観応の擾乱は，足利尊氏と，その兄である直義が対立して起きた。
- イ. 観応の擾乱は，楠木正成が討たれたことによって終結した。
- ウ. 観応の擾乱の後，ほどなく中先代の乱が起き，北条時行が鎌倉を占拠した。
- エ. 観応の擾乱で活躍した今川了俊は，バサラ大名として有名である。
- オ. 観応の擾乱を描いている文学作品として，『太平記』が挙げられる。

問 5. 下線部(d)に関する正しい説明文を，下のア～オのうちから一つ選び記号で答えよ。

- ア. 鎌倉公方足利持氏が関東管領上杉禅秀を討ったことを契機に，享徳の乱が起きた。
- イ. 鎌倉公方足利成氏は，鎌倉を追われて伊豆国堀越に移って堀越公方と呼ばれた。
- ウ. 鎌倉公方足利持氏は，関東管領上杉憲忠と争って永享の乱を引き起こした。
- エ. 室町幕府 2 代将軍足利義持の兄の基氏は，初代鎌倉公方となった。
- オ. 鎌倉府には，鎌倉幕府や室町幕府と同様に侍所・政所などが置かれた。

問 6. 下線部(e)に関する正しい説明文を、下のア～オのうちから一つ選び記号で答えよ。

ア. 肥前国は、現在の長崎県と熊本県にあたる。

イ. 肥前国の大名鍋島直正は、黒砂糖の専売制を強化して藩財政を立て直した。

ウ. 江戸時代には、肥前国の特産品として有田焼が誕生し、各地に流通した。

エ. 肥前国出身の安藤昌益は、『稽古談』を著して経世論を唱えた。

オ. 『東海道中膝栗毛』には、当時の肥前国各地の様子が描かれている。

問 7. 下線部(f)に関して述べた以下の文章について、下線部(ア)～(エ)の内容が、それぞれ正しいか誤っているかを答えよ。〔解答例：(オ)=正、(カ)=誤〕

徳川綱吉は新井白石を側用人に登用して政治を行い、1680年には生類憐れみの令を出した。また、江戸の湯島に聖堂を建てて林信篤を大学頭に任じて儒学を奨励し、勘定方の荻生徂徠を中心に貨幣の改鑄を進めた。

問 8. 下線部(g)に関する正しい説明文を、下のア～オのうちから一つ選び記号で答えよ。

ア. 1732年に起きた享保の飢饉に対応して、幕府は海舶互市新例を発した。

イ. 天保の飢饉をきっかけに、甲斐国の郡内騒動や三河国の加茂一揆が起きた。

ウ. 養和の大飢饉をきっかけに、水野忠邦による享保の改革が行われた。

エ. 享保の改革では、農村に郷学の建設を進めるなどして食料備蓄を推進した。

オ. 1642～43年に起きた寛永の飢饉に対応して、旧里帰農令が発令された。

3 次の文章を読み、下の問いに答えよ。

- (1) 第二次世界大戦が終結した後も、国際的な緊張関係は解消されることはなかった。アメリカを盟主とする西側諸国と、ソ連を盟主とする東側諸国は、軍事・経済・イデオロギーなど多面にわたって激しく対立した。1949年に西側諸国は、共同防衛組織として(1)を結成した。このような対立構造は、アジア諸国の

動向にも影響を及ぼし、中国大陸では中国内戦、朝鮮半島では朝鮮戦争が勃発した。

近隣諸国の戦争状態は、アメリカによる日本の占領政策の転換を促した。軍事の空白を埋めるため、^(a)(2)が新設され、旧軍人の公職追放は解除された。またGHQが軍国主義の温床とみなした財閥の解体にも、歯止めがかけられた。1947年に制定された(3)により、巨大独占企業の分割が進められるはずであった。しかし指定を受けた325社のうち、実際に分割されたのは11社にとどまった。

1951年9月、サンフランシスコ平和条約が調印され、日本は独立国としての主権を回復した。^(b)同日、日本とアメリカの間では、(4)が調印され、独立後もアメリカ軍が駐留することとなった。独立後の吉田茂内閣は、労働運動・社会運動を抑制する法整備を進めた。自衛力や警察権力の強化も含め、これら吉田内閣の動きは、(5)と呼ばれた。

(2) 日本経済は、朝鮮戦争による特需景気により活気を取り戻した。1955年から73年にかけては、年平均10%前後の高い成長率を示し、高度経済成長を実現した。(6)と呼ばれる大型景気の最中である。1956年度の『経済白書』には、「もはや戦後ではない」と記された。1964年には、アジアで初となった東京オリンピックが開催された。^(c)

高度経済成長が達成されるなか、深刻な社会問題も生じた。全国で公害が発生し、とりわけ四大公害では、^(d)多くの人命が失われた。この時期の公害は、化学物質による水質汚濁や大気汚染が問題となったが、四大公害のうち大気汚染が原因であるのは、(7)であった。

公害を生み出した企業のなかには、満州事変以降の軍需・重化学工業と密接な関係をもつものもあった。水俣病を引き起こしたチッソは、日本窒素肥料会社を前身とする。日本窒素肥料会社は(8)として知られた日窒コンツェルンを構成する中核的企業であり、(9)が設立した。

公害問題に対応するため、1971年には(10)が発足し、経済成長と公害防止の両立が図られた。

問 1. (1)～(10)に入る最も適切な語句を、下の【語群】から選び、その記号を番号と結んで書き出せ。〔解答例：(11)―へ〕

【語群】

- | | |
|-------------------|---------------|
| ア. 岩戸景気 | イ. 経済企画庁 |
| ウ. 日米行政協定 | エ. 四日市ぜんそく |
| オ. 日米安全保障条約 | カ. 鮎川義介 |
| キ. 日米相互協力及び安全保障条約 | ク. 警察予備隊 |
| ケ. 逆コース | コ. 八大財閥 |
| サ. 新興財閥 | シ. 既成財閥 |
| ス. プレス＝コード | セ. 保安隊 |
| ソ. イタイイタイ病 | タ. 大河内正敏 |
| チ. 独占禁止法 | ツ. 新潟水俣病 |
| テ. 環境庁 | ト. レッド＝パージ |
| ナ. ヨーロッパ共同体 | ニ. 重要産業統制法 |
| ヌ. いざなぎ景気 | ネ. ワルシャワ条約機構 |
| ノ. 北大西洋条約機構 | ハ. 神武景気 |
| ヒ. 野口遵 | フ. 過度経済力集中排除法 |

問 2. 下線部(a)に関して、当初の民主化を促す占領政策の説明として正しいものを、下のア～エのうちから一つ選び記号で答えよ。

- ア. 農地改革を実施したが、その後も自小作地の割合は大きく変化しなかった。
- イ. 1951年に民間ラジオ、1953年に白黒テレビ放送が始まったが、言論統制のため新聞・雑誌は増加しなかった。
- ウ. 1947年までに労働三法が制定されたが、労働者の争議権は認められなかった。
- エ. 1945年幣原内閣は憲法問題調査委員会を設置し、同委員会は憲法改正要綱を作成したが、GHQに拒否され採用されなかった。

問 3. 下線部(b)に関して、サンフランシスコ平和条約の説明として誤っているものを、下のア～オのうちから二つ選び記号で答えよ。

ア. ソ連は講和会議に出席したが、条約に調印しなかった。

イ. 朝鮮の独立、台湾・南樺太などの放棄が定められ、南西諸島は日本に復帰した。

ウ. 中華人民共和国・中華民国は、講和会議に招かれなかった。

エ. 日本を含む 52 か国が参加し、48 か国との間で締結された。

オ. 日本は賠償責任を負い、アメリカをはじめ交戦国は賠償請求権を放棄しなかった。

問 4. 下線部(c)に関して、当時の日本の生活様式の説明として正しいものを、下のア～エのうちから一つ選び記号で答えよ。

ア. 東海道新幹線が開通し、航空輸送にはジェット機が導入され、高速輸送時代を迎えた。

イ. カラーテレビ・クーラー・電気冷蔵庫が普及し、「三種の神器」と呼ばれた。

ウ. 1 世帯の家族構成は 5 人程度であり、核家族ではなかった。

エ. 高度経済成長を反映し、上流意識をもつ人びとが多数を占めた。

問 5. 下線部(d)に関して、当時の社会状況の説明として誤っているものを、下のア～エのうちから一つ選び記号で答えよ。

ア. 環境汚染に対応するため、石油から原子力へと転換するエネルギー革命が起きた。

イ. 交通事故による死者は毎年 1 万人を超え、交通戦争と呼ばれた。

ウ. 農山漁村では、現在まで続く、過疎化が進行していった。

エ. 公害規制や福祉政策を重視する革新自治体が大都市圏で成立した。

2022年度 東北学院大学 日本史 解答速報(2月1日実施分)
全学部型 (文・経済・法・教養学部の全学科・全コース)

| |
|----|
| 解答 |
|----|

1

問1

- (1) ツ (2) ス (3) ネ (4) コ (5) カ (6) フ (7) ミ (8) シ
(9) オ (10) ソ

問2 ウ

問3 ア

問4 ウ

問5 エ

問6 イ

2

問1

- (1) ノ (2) テ (3) ナ (4) エ (5) ヌ (6) ホ (7) ヘ (8) ア
(9) フ (10) コ

問2 エ

問3 エ

問4 オ

問5 オ

問6 ウ

問7 アー誤 イー誤 ウー正 エー誤

問8 イ

3

問1

- (1) ノ (2) ク (3) フ (4) オ (5) ケ (6) ハ (7) エ (8) サ
(9) ヒ (10) テ

問2 エ

問3 イ、オ

問4 ア

問5 ア

1

蘇我氏と東漢氏の関係、「儒教の経典を上級貴族が学んだ場」などの若干戸惑う記述はあるものの、「教科書の記述」を**ゴシックの用語とその周辺の語句内容**をしっかりと暗記していけば十分合格点は取れる。問1の【語群】の中に「同じタイプの語句」が含まれているので、そうした「似ている語句」を対比しつつ確認していけばよい。むしろそれがヒントになる。問6「年代順問題」は、教科書や資料集、用語集の散らばった範囲を結び付けて考えることから、難しいと感じた方は多いかもしれない。物語を作れば楽に考えられるだろう。

2

大河ドラマの影響か、「畠山重忠」には参った。普通なら、「和田義盛」である。もちろん、用語集に「武蔵国秩父の武将」とあるので文句は言い難い。また、受験生の中には「一揆は結成するもの」という感覚がなかった方もいたのでは？常に言っているが、「**日本史用語以外の言葉こそが重要**」ということである。もちろん、多くの問題は教科書の内容⇨用語集の頻度が高い言葉のオンパレードなので、変わった学習などは不要である。オーソドックスな「理解して覚える」ことを繰り返すのみである。たんに「覚えればいい」というスタイルでは問題を解くのは難しい。

3

「エネルギー革命」や「核家族化」、「過疎化」などの用語があるので総合力を見たい問題だと思われる。ただし、**中学で学んだ内容の延長**でもあるので、来年の受験を考えている方はやり直してみることを推奨する。北大西洋条約機構も、環境庁もみんな既習済みであり、むしろ「新興財閥」や「過度経済力集中排除法」など、この大問も【語群】の中での比較がカギになるであろう。